

小・中学校の教科書に記載されている喫煙防止教育について

京都大学医学研究科健康情報学 宮崎 貴久子・ 中山 健夫 明星大学大学院人文学研究科 高下 梓

【はじめに】子どものころの健康な生活習慣、適切な知識の習得は、パブリックヘルスにおいて最も望ましいことであり、それは喫煙防止教育についても例外ではない¹⁾。わが国の子どもたち全員が所持している小・中学校の保健・保健体育の教科書に記載されている喫煙防止に関する内容を検討した。

【方法】平成 18 年度に使用されている小・中学校の保健・保健体育の教科書全冊を対象として、喫煙に関する記載状況を調査した。

【結果】小学校保健の教科書は、3・4 学年用と 5・6 学年用の 2 冊が 5 社から約 2,522 千冊²⁾発行され、中学校保健体育の教科書は、3 学年を通して使用する 1 冊が 3 社から約 1,252 千冊³⁾発行された。出版部数は出版社上位 2 社で小学校 80.5%、中学校 86.6%を占めた。

喫煙に関して、小学校では第 6 学年の「病気の予防」の単元で、中学校では第 3 学年の「健康な生活と疾病の予防」の単元で学習する。

喫煙について記載されていた頁数は口絵の写真を含めて、小学校 2.4/40.4 頁、中学校 7/148.7 頁であった。全教科書に共通した記載内容を表 1 に、出版社によっては取り上げられていた主な内容を表 2 にまとめた。小・中学校全教科書で、喫煙を誘われたときの断り方について、飲酒・薬物乱用と共にロールプレイングが紹介されていた。中学校では喫煙のきっかけとなる心理状態や社会的環境と防止方法が記載されており、喫煙に関する分煙などの社会的動向や法律・条約などについても言及していた。喫煙に関するホームページの紹介が、小学校 2/5 社、中学校 2/3 社にあった。

【考察】教科書には、喫煙の短期的・長期的な身体

への影響、受動喫煙の害と分煙、未成年者の喫煙による悪影響などが、写真やグラフなどを用いて記載されていた。これらの教科書が、教育の現場でどのように使用されているのかということが課題となろう。

表 1 全教科書に共通した記載内容

小学校	生活習慣病になりやすくなる	文
	健康な肺とたばこで汚れた肺の写真	図表
	すい始めるとなかなかやめられない	文
	たばこは周りの人たちにも害がある	文
	分煙・禁煙の写真	図表
	発育期はたばこの影響を強く受ける	文
	未成年者の喫煙は法律で禁止	文
	断り方の練習（ロールプレイング）*	文・図
中学校	喫煙の健康への影響	文
	煙に含まれている有害物質とその害	図表
	ニコチンの依存性	文・表
	非喫煙者の肺と喫煙者の肺の写真	図表
	主流煙と副流煙に含まれる主な成分	図表
	健康増進法	文
	未成年者喫煙防止法	文
	きっかけと防止方法*	文・図
	断り方の練習（ロールプレイング）*	文・図

* 飲酒・薬物乱用と共に記載

表 2 出版社によっては取り上げられていた主な内容

小学校	たばこが体に与える影響	図表
	けむりには有害な物質が含まれている	文
	非喫煙者と喫煙者のがん死亡率	図表
	すい始めた年齢と肺がん死亡率	図表
	夫の喫煙量と妻の肺がん死亡率	図表
	喫煙者と非喫煙者の歯ぐきの写真	図表
	すい始めたきっかけ	文・図
	お腹の赤ちゃんへの影響	文
中学校	喫煙した時に現れる症状	図表
	喫煙による脳の血流変化の写真	図表
	喫煙開始年齢と心臓病・肺がん死亡率	図表
	たばこ規制枠組み条約	文
	心筋梗塞と低体重児が生まれる確率	図表
	妊婦への影響	文

文献

- 1) WHO: A review of the strategies, Tobacco Control: 17, 2003
- 2) 内外教育、第 5529 号:2-4、時事通信社、2004
- 3) 内外教育、第 5618 号:2-4、時事通信社、2005